

聖心女子大学 2020(令和2)年度 一般入試(総合小論文方式) 問題

問1 資料1は、各国の一人当たり GDP (国内総生産) と平均寿命との関係を図示したものです。仮に、一人当たり GDP が 2000 ドルで平均寿命が 60 歳の国があるとします。この国の一人当たり GDP が 1 万 6000 ドルとなった時、平均寿命はどのようにになると予測できるでしょうか。次の選択肢のなかから適切なものを選びなさい。

- (a) 短くなる (b) ほとんど変わらない (c) 長くなる

問2 資料2を読み、以下の問いに答えなさい。

(1) 空欄 

A
---

 には、どのような単語が入るのか、以下の選択肢の中から選びなさい。

- ①不健全 ②不十分 ③不経済 ④不合理 ⑤不道徳

(2) 二重下線部にある「経済学的な判断の部分的な性格」ということは、何を指しているのか。60 字以内で答えなさい。

問3 資料3は、2007年に開催された Beyond GDP という国際会議のオープニングスピーチの一部です。資料を踏まえ、以下の問いに答えなさい。

(1) 下線部㉑が受けている語を全て挙げなさい。

(2) 下線部㉒の “The policy”を表す以下の文章の ( ① )、( ② )、( ③ ) に適切な日本語を入れなさい。

生態学的に重要な ( ① ) を保全するために、特定の種類の貴重な木材の ( ② ) を全て ( ③ ) すること。

(3) ( ㉓ ) に入る語は何か、以下の選択肢(a)から(d)の中で適切なものを答えなさい。

- (a) policy (b) GDP (c) indicator (d) well-being

(4) 下線部①、②、③の単語を日本語に訳しなさい。

問4 GDP は現在でも、政策を立案し決定する上での重要な指標の一つとして用いられています。GDP のみを政策立案の指標とする場合の問題点を指摘した上で、現在でも GDP が政策を立案し決定する上での重要な指標の一つとして用いられ続けている理由について、資料1から資料3すべてを踏まえ、あなたの考えを 600~800 字で述べなさい。

【配点】問1、問2、問3: 合計 150 点、問4: 150 点、総計 300 点

## 【出典】

### 資料1

ロスリング, H., ロスリング, A., ロンランド, A. 上杉周作・関 美和 (訳) (2019). *ファクトフルネス: 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣*, 日経BP社. (一部改変)

### 資料2

シューマッハー, E.F. 小島慶三・酒井 懋 (訳) (1986). *スモール イズ ビューティフル*, 講談社学術文庫. (一部改変)

### 資料3

Barroso, J. M. (2009). Opening speech: The challenges of modern societies. *Conference Proceedings of Beyond GDP: Measuring progress, true wealth, and the well-being of nations*, 24-25. (一部改変)